



教職大学院だより

熊本大学大学院教育学研究科 令和6年3月1日発行

成果報告会開催～2年間の学びを共有～

2月15日、教育実践研究の成果報告会を開催しました。教職大学院での2年間の学びの集大成となる場です。緊張の中で、それぞれの取組の成果を、自信をもって報告できていました。2年間の取組の目的や意義を改めて考え直し、成果をより実感することができたようです。今回の学びを、学校現場においてさらに充実させてほしいと思います。発表会後のすがすがしい笑顔が素敵です。



Kumamoto
**Education
Week** 2024.1.20-28
Kumamoto for SDGs

Kumamoto Education Week (熊本市教育委員会主催) が開催されました。熊本大学関係者も、多く出演しています。子どもに関わる学校や家庭、地域、企業や行政、民間など、様々な立場の人が有機的につながり、



みんなの夢が未来を創る — 共によりよい社会の実現を目指す「教育エコシステム」の取組を見ることができます。QRコードを読み取ると多くの動画を見ることができます。どうぞご覧ください。

P1院生 による 授業紹介

学校と家庭・地域の連携構築

これからの学校のあり方として、家庭・地域と連携していくことは必要不可欠です。そして、人は生涯にかけて学び続ける存在であるという視点で考えたときに、学校という場は社会の中のごく一部であり、教育は学校だけで行うものではないということ学びました。自分の中の「学校観」が大きく変容し、広い視野での「学校」のあり方について考えています。学校を核とした地域活性化の事例や、島根県益田市の「益田版カタリ場」の具体的実践から学ぶだけでなく、実際に阿蘇小学校にフィールドワークに行き、コミュニティスクールについて体験的に学んでいます。



(P1 吉安 幸子)

P2院生 による 研究紹介

熊本市における「地域とともにある学校づくり」への構想

文部科学省は「地域とともにある学校」をつくるために、地域と学校を繋ぐことを目的として、コミュニティ・スクールの設置を努力義務にしていますが、現在、熊本市には設置されていません。

けれども熊本市にはすでに、地域と学校とのハブ的役割を担っている「まちづくりセンター」や「公立公民館」が設置されています。学校はこのような既存の仕組みを活用することで、コミュニティ・スクールを設置しなくても「地域とともにある学校」をつくることのできるのではないかと考え、勤務校で実践研究しています。この実践を熊本市全体に共有できるよう、今後も研究を進めていきます。



(P2 宮部 健太)